早川町応援団獲得マガジン

やまたらけ

YAMADARAKE

JUNE
No.29
2008

親子で遊ぶ早川のアウトドア

見渡せば山、山、山。そんな早川町でアウトドアを楽しまないなんてもったいない。今号は、これから夏に向けて、早川町のアウトドアを存分に楽しんでもらおうという企画です。

中でも、今回紹介するのは、子どもと一緒に楽しめるアウトドア。安全に、家族みんなで楽しめるアウトドアです。また、子どもさんに「お父さんすごい」って思われちゃうような知識や技も紹介します。子どもさんに内緒で予習をしておくと、お父さんの株があがること請け合いです。

今回は初の試みとして、ゲームブック形式で掲載しています。みなさんの好みやシチュエーションに合わせて選択し、オリジナルのプランを組み立ててください。

では、早川町でのアウトドア、そろそろスタートです。（取材・文章／石川宜裕、福永香織、平川寛子）

ここからスタート

1 早川町に到着

早川町に到着。天気は快晴、まさにアウトドア日和。大自然に圧倒されつつも、どこで遊びたいか子ども達に聞いてみよう。その答えは？

山で遊ぶ→2へ
川で遊ぶ→9へ

2 山で遊ぶ

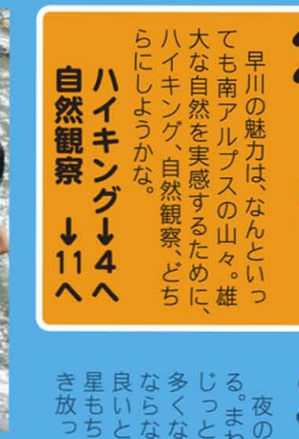
早川の魅力は、なんといっても南アルプスの山々。雄大な自然を実感するために、ハイキング、自然観察、どちらにしようかな。

ハイキング→4へ
自然観察 →11へ

3 満天の星空観察

夜の早川も、思いがけない発見がたくさんある。まわりの電気を消したら、空を眺めてみよう。じっと見ていると、肉眼で見える星がどんどん多くなってくる。普段見ている夜空とは比較にならないほどの星空に声を失うはず。お天気が良いときには天の川が見えるだけでなく、流れ星もちらほら。壮大な宇宙を感じながら、心を解き放ってみては。

おやすみ zzz→13へ



月のない夜は、漆黒の闇。灯り無しには歩けないが、空を見上げれば満天の星空。逆に、満月の夜は灯りは必要ない。月明かりのありがたさが身にしみる。

黒桂河内川で泳ぐ

5

暑い夏にはやっぱり川遊び。野鳥公園の横を流れる黒桂河内川がオススメ。水もきれいで、気持ち良く泳ぐことができる。水中に潜ると魚に出会えるかも。ただ真夏でも早川の水は冷たい！冷えた体は、岩の上に張り付いて温めよう。岩は太陽でポカポカのはず。

なお、支流といっても流れは結構早い。突然深くなっている箇所もある。くれぐれも、お子さんから目を離さないように。

さて、今夜の予定は？
泊まってもう一日遊ぶ→6へ
泊まらずに帰る →19へ

6 今夜のメニューは？

夕方になって、そろそろお腹もすいてきた。さて今夜は何を食べようか。

BBQがしたい→15へ
飯ごう炊さんだ→17へ
ピザが食べたい→18へ

7 鳥のさえずりを聞く

少しばかり眠い目をこすりながら、早起きをする。子どもたちと一緒に外に出ると、そこかしこから鳥たちのおはようの挨拶。既に鳥たちは起きているようだ。

オオルリの美しいさえずりや、アカショウビンの「キョロロロー」という鳴き声も聞こえる。水辺に行けばヤマセミやカワセミが姿を見せてくれることもあるそうだ。

鳥のさえずりを目覚まし時計代わりにするなんてなんて贅沢なのだろう。

今日は何して遊ぼうか→16へ

夏鳥の代表格オオルリ。瑠璃色の容姿も鳴き声も美しい。「ピーリー、ピポヒーリー、ジジ」と鳴く。

8 カブトムシやクワガタを捕まえよう

お腹いっぱい。晩ご飯に満足したところで、「カブトムシやクワガタを捕まえに行こう」と言ったら、子どもたちは大喜び。さて、出かける準備をしよう。といっても、ここ早川では特別な用意は不要。歩くだけでいい。

とりあえず、明かりのある場所に行ってみる。いるいる、明かりに導かれた虫たちが。もちろんカブトムシやクワガタもいる。子どもたちは、自分で捕まえたカブトムシに大喜びだ。

おやすみ zzz→13へ

カブトムシ、ミヤマクワガタなど、子どもたちに人気の昆虫がたくさん。ただ、スズメバチやムカデなども一緒にいる可能性あり。十分に注意を。

お父さんのカンペ1 昆虫を捕る方法

橋、発電所やダムの周りなど、ひときわ明るい街灯がある所が狙い目。明るいうちにクヌギやナラなどの木を探しておくのも良い。最終手段は、バナナや黒砂糖を焼酎か紹興酒で煮た液を、布にたっぷり浸して木に縛り付けておく（写真右）。

9 川で遊ぶ

早川でのアウトドアに、きれいな水が流れる川での遊びは欠かせない。泳ぐのもいいなあ。釣りもいいなあ。さて、どっちにしよう。

もちろん泳ぐ→7へ
魚釣り！ →14へ

10 ムササビに会う

暗くなると活動を始めるムササビ。せっかく早川まで来たのだから、飛ぶところを見てみたい。エサを獲りに出かける、日没からおよそ30分後が最大のチャンス。大きな木のうろに巣を作って住んでいるので、できれば昼間にそんな木を探して、木の下で静かにスタンバイ。一瞬なので見逃さないように。

おやすみ zzz→13へ

→ムササビの巣。お寺の境内など、大木がある所でこんな穴を探してみよう。

4 御殿山、富士見山ハイキング

新倉から茂倉林道を車で40分ほど登ると、標高約1500mの十谷峠に到着。そこからハイキング開始。アップダウンも比較的少なく、お手軽なコースだ。御殿山には、ゆっくり歩いて約1時間半で到着。南アルプスを眺めながら、しばし休憩。澄んだ空気が程よく疲れた身体に心地よい。その後さらに1時間かけて富士見山まで歩く。山頂からは名前の通り富士山がはっきりと見える。子どもたちは大きな声で、お約束の「ヤッホー」。

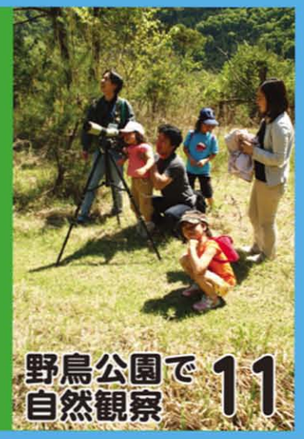
11月の始めに日の出に合わせて登山すれば、ダイヤモンド富士も拝める。今度子どもたちと一緒に拝みに来よう。

泊まってもう一日遊ぶ→6へ
泊まらずに帰る →19へ

11 野鳥公園で自然観察

自然観察をしようとやってきたのは「野鳥公園」。なんと、96種類もの野鳥が観察されているそうだ。自然観察路があり、ガイドもしてくれるとのこと。早速お願いし、ガイドのお兄さんと一緒に観察路を歩いてみる。お兄さんは、鹿が角を磨いだ跡や猪の足跡、可愛い声でさえずる鳥、植物や昆虫についても丁寧に解説してくれた。子どもたちは、お兄さんの話に興味津々。新しい発見連続の、楽しい自然観察となった。

さて、今夜の予定は？
泊まってもう一日遊ぶ→6へ
泊まらずに帰る →19へ



お父さんのカンペ2 エビフライを探してみよう！

早川町の森のあちこちにエビフライが落ちている。食べ物を捨てるなんてもったいない！いえいえ、実はこれ、リスの仕業。松の種を食べようと、松ぼっくりの周りを一生懸命かじりとった痕なのです。二つに割れたクルミもリスの食痕。

12 何もしない、とにかくのんびり

早川のよさは、とにかく何もしない時間を楽しめること。「何かをしなければ」という固定概念を捨てて、心の赴くままに過ごしてみよう。何も考えずにぼーっとするのもよし、うたた寝するのもよし。たまには、ゆとりのある贅沢な時間を満喫してみよう。

さて、今夜の予定は？
泊まってもう一日遊ぶ→6へ
泊まらずに帰る →19へ

13

今日はたくさん遊んだ。楽しかったなあ～。

さあ、ゆっくりするのもよし、うたた寝するのもよし。たまには、ゆとりのある贅沢な時間を満喫してみよう。

寝て明日も楽しもう！

明日の朝は
早起きする →7へ
早起きしない→16へ

14 やまめぴあで魚釣り！

家族での釣りなら、初心者でも楽しめる「やまめぴあ」がオススメ。釣竿を借りたら美味しそうなニジマスがたくさん泳いでいる釣堀へ。魚が集まっている所を狙うと、子どもでも簡単に釣れる。なかなか釣れない時は、魚が警戒しているのかも。えさをイクラに変えてみよう。もちろん、釣った魚は串に刺して焼いて食べるべし！

さて、今夜の予定は？
泊まってもう一日遊ぶ→6へ
泊まらずに帰る →19へ

お父さんのカンペ3 串の刺し方と焼き方

内臓とエラをとった魚の口から竹串を入れ、背骨に沿って1／3ほど刺したら大きく縫い上げるように尻尾まで通す。この時背骨に沿ってしっかり通すことで、焼いても串から外れない。焼くのは、炭火よりも薪の方が煙で燻され美味しい。塩をふって、強火の遠火でじっくり焼こう。焦りは禁物。

今回紹介した施設とアウトドアスポット

黒桂河内川（つづらごうちがわ）

野鳥公園の横を流れる早川の支流。雨が降っても濁りが少ない、きれいな沢。本流との合流点付近は水深も浅く、比較的安全に遊べる。ただ、河原でのキャンプやたき火などは、基本的に禁止。魚を捕まえるには、遊漁券の購入が必要。川遊びだけなら野鳥公園の入園料は必要ないが、セットで遊ぶことをオススメ。

↑奈良田・西山温泉

野鳥公園　☎0556-48-2288

鳥を中心に、早川町の自然を紹介する施設。要相談で、自然に詳しいスタッフがネイチャーガイドもやってくれる。

■営業時間／9:00～17:00（火曜定休）

■料金／【入園料】大人400円、小人200円、【ガイド料】人数、時間等により要相談

やまめぴあ　☎0556-45-2378

釣りを中心に、家族で川に親しめるスポット。釣った魚を、その場で焼いて食べればもう最高。

■釣り【釣り堀】1時間1500円～※竹竿、仕掛け、えさ付き、釣り放題【渓流】1日2500円※釣り道具は要持参

■バーベキュー／大人1000円、小人700円※食材以外（鉄板、網、木炭等）は、施設側で用意。

硯の里キャンプ場　☎0556-45-3256

雨畑湖を望む高台にある、気持ちのよいキャンプ場。バンガロー、炊事施設、アスレチック施設有り。キャンプファイヤーも可能。

■入場料／大人500円、小人250円（3歳以上、中学生未満）

■宿泊／利用時間14:00～翌10:00、バンガロー1棟5250円、テントサイト1張2000円（デイキャンプは利用時間10:00～14:00）、各種用具レンタル、薪や炭の販売あり。

【ホームページ】
http://www.salps.net/user/papajaejae/

十谷峠～御殿山～富士見山

十谷峠から稜線沿いに御殿山、富士見山へ向かうルートは、アップダウンも少なく、比較的歩きやすい初心者コース。ブナ林なども広がり気持ちいい。御殿山、富士見山からは、富士山が眺められ、稜線からは所々で南アルプスの峰峰が眺められる。

▲峠にある道しるべ。茂倉集落へも登山道が続いているが、歩かない方が無難。

▲富士見山の山頂から眺める富士山

▲御殿山からのダイヤモンド富士は、11月7日と2月4日に見られる。

ヘルシー美里　☎0556-48-2621

旧・早川北中学校の校舎を利用した温泉宿泊施設。コテージがあり、そこでバーベキューができる（バーベキュー場だけの利用は不可）。

■コテージ利用／チェックイン15:00、チェックアウト10:00、料金は人数によって一人あたり2780円～5400円、その他についてはホームページ参照。

【ホームページ】http://www.salps.net/user/hmisato/

LAND ROVER EX オートキャンプ場　☎0556-20-5055

LAND ROVERと提携している町のオートキャンプ場。芝生に覆われた気持ちの良い空間。石窯の利用は無料（薪は有料）。

■営業時間／チェックイン13:00、チェックアウト10:00

■入場料／大人1000円、小人500円、ペット500円、宿泊（1サイト）電源なし2000円、電源あり3000円（ハイシーズンは＋1000円）【ホームページ】http://www.landroverex.com/

南アルプスプラザ　☎0556-45-2600

赤い三角屋根が目印の、町のインフォメーションセンター兼物産販売所兼レストラン。ハム、ワイン、味噌、コンニャクなど町内の特産品やお土産が並ぶ。レストランでは、ハムやウインナーなど町の特産品も食べられる。

■営業時間／9:00～17:00（水曜定休　※冬季は日曜）

はやかわのとうげみち 1

十谷峠（じゅっこくとうげ）

茂倉〜十谷峠〜十谷〜鰍沢

茂倉集落から林道を上ること約15分、そこは標高一四七〇mの十谷峠だ。峠からは、雪を戴いた南アルプスが遠望できる。

自動車が主要な交通手段になる以前、茂倉や新倉の人々はこの十谷峠を越えて、鰍沢町十谷まで生活物資を買いに行った。正月などの支度には、更に下って鰍沢まで5里（約20㎞）の道乗りを行ったという。

買い出しの時は、重い荷物を背負って山道を歩かなければいけない。十谷で買ったお酒が、茂倉に帰り着く頃には半分に減っていたこともあったとか。ただでさえ大変な道乗りを、お酒を飲んで歩いた先人のタフさには、驚嘆するばかり！

▲峠の様子。鰍沢方面から早川側を見た風景。

林道は未舗装区間もありますので、走行には十分注意を。天候等で通行止めの場合もありますので、事前に早川町役場に確認をした方が確実です。

▲峠を鰍沢方向に少し下ると、富士山の勇壮な姿が眺められる。（写真左）。早川方向からは、笊ヶ岳など南アルプスの峰々が一望できる。（写真右）

十谷峠は馬も歩いた。荷物の運搬や御用聞きをした、茂倉の馬方。

■読者の声

●地域の自然とそこに暮らす人々とのふれあいを通じた教育に共感しました。我が家の息子もこうした環境で育てたいと思って止みません。（奈良市、Hさん）

●私は、（中略）「やまだらけ」な田舎に生まれ、小学校2年生まで過ごしました。（中略）子どもの頃の田舎での楽しかった記憶はいつまで色あせないものです。私が早川町を応援しているのは、自分の生まれた地と早川町を重ね合わせているからなのかも（中略）。自分の子も山村留学させようかなと、記事を読んで本気で感じ始めています。早川北小ガンバレ！（浜松市、Yさん）

編集部：他にも早川北小学校に対する共感の声をたくさん頂きました。北小には早川町にしかできない教育を、今後も追求していってもらいたいと思います。そして、町外からも大勢の子どもたちがこの小学校を求めてやって来てくれれば、嬉しい限りです。

■NEXT やまだらけ

30号特集（8月上旬お届け）

「早川の雑穀文化」

南アルプスの山々に囲まれた早川町は、田んぼを作れる平地が少なく、昔から急傾斜の畑を耕し麦やソバ、キビ、アワなどの雑穀を育てて食べてきました。

時代は変わり、お米は簡単に手に入るようになりましたが、今でも当時の雑穀の味は、生活の記憶とともに早川町民の心にしっかりと刻み込まれています。

次号では、そんな雑穀を今でも大切に作り続けている稲又集落の方々に密着します。取材を通して、早川町の大切な食文化としての「雑穀」と、その行く末を考えてみたいと思います。

豪華賞品？が当たる やまだらけクイズ！ 7

問：今回の取材中、河原でこんな形の足跡をたくさん見かけました。さて、この足跡はどの動物のものでしょう。
ヒント：一直線で憎めないやつです。

答 1，サル
2，シカ
3，イノシシ

正解者の中から抽選で2名様に、**早川の新ジャガ3種詰め合わせ**をプレゼントします！

前回のクイズの正解は、2の「温水プール」でした。抽選の結果、林さん（奈良市）、小松さん（府中市）、望月さん（平塚市）の3名が当選しました。おめでとうございます！

15 ヘルシー美里でバーベキュー

本日宿泊する「ヘルシー美里」のコテージは、自炊が基本。ということで今夜はバーベキュー。まずは炭で火を起こし、お肉やキノコ、良心市で買ってきた野菜を切り分けていく。準備が整ったら、みんなで食材を次々と焼いていく。

やっぱり炭火は美味しい。子どもたちもコックさんになって、がんばっている。バーベキューを囲み、笑いが絶えない家族団欒のひとときとなった。

早川の夜を楽しもう
きれいな星空を見たい→3へ
カブトムシをとりたい→8へ
ムササビに会いたい →10へ

→ヘルシー美里のバンガロー。大勢で泊まればリーズナブル。

16 今日は何する？

清々しい空気の中、朝ご飯。メニューは持ってきたパンに、早川のハムとレタスを挟んだサンドイッチ。屋外で飲むコーヒーもまた格別。さて今日は、何をしようかな。

山で遊ぶ→2へ
川で遊ぶ→9へ
のんびり→12へ

17 硯の里キャンプ場で飯ごう炊さん

キャンプといえば、やっぱり飯ごう炊さん。メニューは定番のカレーライス！まずは火起こし。最初は細い枝を燃やして、徐々に太い薪に火をつけていこう。お米は強火で一気に炊きあげる。少々焦げても気にしない。炊きあがったお米は、一粒一粒立っている。

カレーは、子どもたちがお母さんと一緒に作ってくれた。家で食べるカレーとは、なぜかひと味もふた味も違う美味しさ！

早川の夜を楽しもう
きれいな星空を見たい→3へ
カブトムシをとりたい→8へ
ムササビに会いたい →10へ

お父さんのカンペ4 石窯の使い方

石窯に薪を入れ、火をつけて窯をあたためる。2時間ぐらいがんがん燃やして、石窯の温度をしっかりと高めるのがコツ。温度が低いと、うまく焼けなかったり、焼くのに時間がかかったりする。

置き火になった薪を、窯の左右によけたら準備完了。具をのせたピザを入れよう。

18 オートキャンプ場の石窯でピザを焼く

アウトドア料理といえばバーベキューが一般的だが、ここランドローバーEXオートキャンプ場には石窯があり、本格的なピザが焼ける。手作りの生地に早川でとれた野菜や特産のベーコンをたっぷり乗せた贅沢なピザを作ろう。家族みんなが満足できること間違いなし。

早川の夜を楽しもう
きれいな星空を見たい→3へ
カブトムシをとりたい→8へ
ムササビに会いたい →10へ

19 南アルプスプラザでお土産を買って帰ろう！

アウトドアを満喫したら、南アルプスプラザでお土産を買おう。ワイン、ベーコン、ウインナー、みそ、こんにゃくなど早川の特産品が揃う。町内の芸術家による作品や絵はがきなども並び、意外な早川の魅力に気づかされる。今度は早川の芸術めぐりもいいかも…。あ～、今回の旅も楽しかった！

注意事項／宿泊は、基本的に予約が必要です。今回ご紹介したメニューを実践する場合、食材は各自で持参してください。道具、薪、炭などは販売もしくはレンタルもあります。詳細については、各施設にお尋ね下さい。

今回私は、3人娘のお母さん役という設定。設定とはいえ「母ちゃ～ん」と走って来られると、自分が親になった時のことが目に浮かんでドキドキしてしまいます。それにしても、子どもの頃に山や海で体験したことは、しっかりと記憶に残っているから不思議。言葉で言い表せない感動があれば、難しい理屈は必要ないのかもしれません。

山を覗けば宝の山
やまだらけ

発行元／フィールドミュージアム運営委員会
住　所／山梨県南巨摩郡早川町薬袋430　〒409-2727
電　話／0556-45-2160　ファクシミリ／0556-45-2268
ホームページ／http://www.town.hayakawa.yamanashi.jp/fm/